

現役委員のこえ直撃インタビューQ&A

委員歴1年(若手) へんざん 平安山 しょうと 良斗さん

委員歴30年(ベテラン) なかむら かずふみ 仲村 和文さん

Q1. スポーツ推進委員をはじめたきっかけは？

先輩委員と一緒に活動しないかと誘いを受け、自分もスポーツに携わっていたこともあり、地域のために何か恩返しができるかなと思いはじめた。

Q2. 活動の中で驚いたことや印象的だったこと

モルックやウォーキングサッカーなどのメジャーではないスポーツに触れることが多く、その楽しさに気づいた。また、年齢層の高い推進委員が多いが、皆さんとても元気に活動していて驚いた。

Q3. 活動の中で難しいと感じることは？

自分の知らなかった新しいスポーツに出会って触れることができると楽しいと思う反面、それを学び教える立場になった時に、分かりやすく伝えることや好きになってもらうためにどう教えるかなどが難しいと感じる。

Q4. 今後どんな活動をしていきたいか？

経済的な理由などでスポーツをすることや続けることが難しい子どもたちのために、不用になった道具を集めて提供するなど、スポーツができる環境づくりのサポートもしていきたい。

Q5. 市民に向けて一言

一緒にからだを動かして、健康長寿うらそえを目指しましょう！

Q1. スポーツ推進委員をはじめたきっかけは？

草野球チームや青年会で活動をしているときに、当時の社会体育課の職員から声を掛けてもらい、私でも地域貢献ができるのであればと思いはじめた。

Q2. 印象に残っている活動は？

以前は地域でも学校でもスポーツイベントが多く、休みなしで活動をするほど忙しかった。その中でも特に覚えていた活動は小学生水泳大会で、学校、行政、地域が協力し、大変な盛り上がりを見せていた。そのイベントにスポーツ推進委員も一丸となって取り組んだことが印象に残っている。

Q3. 30年続けることができた理由は？

一緒に活動してきたスポーツ推進委員の支えと、何よりスポーツが好きという気持ちがあるから続けることができた。

Q4. 30年の中でスポーツ推進委員の活動に変化は？

コロナ禍を経て、以前はたくさんあったスポーツイベントが極端に少なくなった。委員の活動自体も少なくなり、スポーツを通じた地域交流の場が減ってきていると感じる。

Q5. 市民に向けて一言

楽しくスポーツに触れて健康になりましょう！そして、一緒に活動しましょう！

一緒に活動しませんか？

出前講座・委員派遣 受付中！

スポーツへの理解と熱意があれば、どなたでも活動可能です！ぜひ一緒に浦添市のスポーツを盛り上げませんか？

【任期】2年(期間満了後の継続可能)

【対象】18歳以上70歳未満の市内在住者

スポーツ好き集まれ！

【問い合わせ】
文化スポーツ
振興課
☎(876) 1223

受付中
出前講座
受付中
委員派遣

”地域のスポーツ応援団”

スポーツ推進委員について知ろう！

スポーツ推進委員ってなに？

- ・スポーツ推進委員は、地域の皆さんがもっと気軽に楽しくスポーツを楽しめるようお手伝いする“地域のスポーツ応援団”です。
- ・スポーツ基本法に基づいて市が委嘱する非常勤職員として、地域におけるスポーツの普及・振興を目的に活動しています。
- ・スポーツイベントのお手伝いや、ニュースポーツの紹介、学校や地域での運動指導・体力測定など、地域のスポーツ推進の担い手としてさまざまな活動を行っています。

どんな人が活動しているの？

- ・浦添市では現在、20代から60代までの委員14名がスポーツ推進委員として活動をしています。
- ・委員歴30年のベテランから、活動を始めたばかりの若手委員まで、それぞれの個性や経験を活かして活躍しています。
- ・特別な資格は必要ありません。「スポーツが好き」「地域に関わりたい」という気持ちがあれば、どなたでも参加できる活動です。

こんなイベントを支えています！

体力測定イベント



体力テストの記録測定員としてイベント運営を支援

まなびフェスタ



ニュースポーツなどの体験ブースを運営

てだこウォーク



コースマスター、コースアンカーとしてウォーカーの皆さんを誘導

学年レクリエーション



学校レクやPTAレクなどの運営・実技指導などを実施

地域のスポーツイベント



自治会対抗競技大会などのスポーツイベント運営の支援

ニュースポーツの普及にも取り組んでいます！

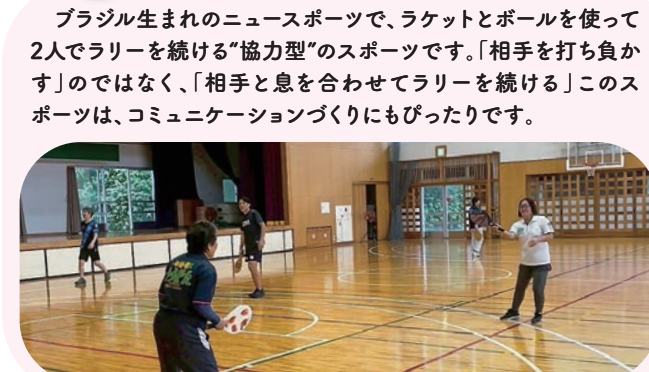
ニュースポーツとは、年齢や体力に関係なく、だれでも楽しめるように工夫された新しい形のスポーツのことです。地域のイベントなどでニュースポーツの体験会を実施し、その普及に取り組んでいます。

例1 モルック Molcky



フィンランド発祥のニュースポーツで、1～12番の数字が書かれた木のピン(スキttl)に、木製の棒(モルック)を投げ得点を競うスポーツです。カヤスピードよりも、「ねらい」と「かけひき」で楽しむユニークな競技で、ルールも簡単のため誰でも楽しむことのできるスポーツです。

例2 フレスコボール Frescoball



ブラジル生まれのニュースポーツで、ラケットとボールを使って2人でラリーを続ける「協力型」のスポーツです。「相手を打ち負かす」のではなく、「相手と息を合わせてラリーを続ける」このスポーツは、コミュニケーションづくりにもぴったりです。